



平成26年4月23日

各位

会社名 株式会社フィックスターズ
 代表者名 代表取締役社長 三木 聡
 (コード番号：3687 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理本部長 堀 美奈子
 (電話番号：03-6420-0751)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日平成26年4月23日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

なお、平成26年9月期（平成25年10月1日から平成26年9月30日）における当社グループの業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成26年9月期			平成26年9月期 第1四半期累計期間		平成25年9月期	
		(予想)		対前期 増減率	(実績)		(実績)	
		構成比	構成比		構成比	構成比		
売上高	2,794	100.0	61.9	657	100.0	1,725	100.0	
営業利益	408	14.6	61.2	142	21.6	253	14.7	
経常利益	388	13.9	50.7	144	21.9	257	14.9	
当期純利益	237	8.5	40.0	87	13.3	169	9.8	
1株当たり 当期純利益	202円24銭			77円28銭		154円28銭		
1株当たり配当金	55円00銭			—		30円00銭		

(注) 1. 平成25年4月25日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行いましたため、1株当たり数値については平成25年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

2. 平成25年9月期（実績）及び平成26年9月期第1四半期累計期間（実績）の1株当たり当期（四半期）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成26年9月期（予想）の1株当たり当期純利益は公募予定株式数（100,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大18,600株）は考慮しておりません。

以上

平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年4月23日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL http://www.fixstars.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀 美奈子 TEL 03 (6420) 0751
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	657	—	142	—	144	—	87	—
25年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 87百万円 (—%) 25年9月期第1四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	77.28	—
25年9月期第1四半期	—	—

(注) 1. 平成25年9月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権は存在するものの、当社株式は平成26年9月期第1四半期においては、非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	1,151	738	64.1
25年9月期	1,060	684	64.6

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 738百万円 25年9月期 684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	30.00	30.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,794	61.9	408	61.2	388	50.7	237	40.0	202.24

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成26年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募予定株式数(100,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大18,600株)は考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：
新規 一社、除外 一社 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期1Q	1,128,000株	25年9月期	1,128,000株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	一株	25年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期1Q	1,128,000株	25年9月期1Q	一株

（注）1. 平成25年9月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため「期中平均株式数」を記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、円安や株高の進行など市場環境に明るい動きがみられるなか、消費税増税前の駆け込み需要もあり消費が堅調に推移しました。企業の設備投資にも前向きな動きがみられ、海外経済が新興国に陰りがみられるものの、総じてみれば持ち直しに転じました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェアの開発サービスに加えてストレージ関連のソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業においては、医療・検査機器向けの組込みソフトウェア開発の分野で引き続き営業を伸ばしているほか、車載分野の画像処理等のソフトウェア開発プロジェクトも拡大しつつあります。金融分野においては、リスク評価などの重要性の高まりを背景に継続的な受注をしております。ストレージ分野においては、半導体メーカーからの安定的かつ継続的なソフトウェア開発を受注しております。また自社商品である「M^o（エム・キューブ）ソリューション」の開発及び営業にも注力しております。

当社が開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業においては、画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入が前期に引き続き堅調で売上を増やしております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、グローバルな事業展開のための市場調査を展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は657,416千円、営業利益142,210千円、経常利益144,173千円、四半期純利益87,176千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

①ソフトウェア・サービス

ヘルスケア及び産業機器分野では、医療機器や検査装置向け及び車載機器向けのアプリケーション開発や新規ハードウェア環境への移植などを中心に提供しております。金融分野では、大手銀行や証券会社のリスク管理等の高速処理のためのソリューションを中心に安定的かつ継続的にサービス提供しております。モバイル分野においては、半導体メーカー向けのメモリコントロールのためのファームウェア開発を中心に安定的かつ継続的にサービス提供しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、堅調に推移し、売上高454,718千円、セグメント利益（営業利益）130,943千円となりました。

②ハードウェア基盤

画像処理プロセッサ搭載の演算ボードの納入が数量を大きく増やし、その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高202,697千円、セグメント利益（営業利益）12,305千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて、91,120千円増加し、1,151,682千円となりました。これは、売掛金が94,467千円増加した一方で、流動資産の繰延税金資産が17,228千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて37,775千円増加し、413,420千円となりました。これは、買掛金が76,250千円増加した一方で、賞与引当金が32,246千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて53,344千円増加し、738,261千円となりました。これは、配当金の支払い33,840千円があった一方で、四半期純利益を87,176千円計上したこと等が主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（平成26年9月期）におきましては、従来からのマルチコア向けソフトウェアの開発サービスに加えてストレージ関連のソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を積極的に推進して参ります。

これにより、当期（平成26年9月期）の業績予想につきましては、売上高2,794百万円（前年同期比161.9%）、営業利益408百万円（前年同期比161.2%）、経常利益388百万円（前年同期比150.7%）、当期純利益237百万円（前年同期比140.0%）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	468,000
売掛金	555,662
商品	5,107
仕掛品	6,152
未収入金	329
繰延税金資産	11,263
前払費用	11,706
その他	1,149
流動資産合計	1,059,372
固定資産	
有形固定資産	18,915
無形固定資産	
その他	2,904
無形固定資産合計	2,904
投資その他の資産	
繰延税金資産	700
敷金及び保証金	67,358
その他	2,431
投資その他の資産合計	70,489
固定資産合計	92,310
資産合計	1,151,682
負債の部	
流動負債	
買掛金	79,751
1年内償還予定の社債	40,000
1年内返済予定の長期借入金	23,880
リース債務	1,740
未払法人税等	41,734
賞与引当金	9,730
役員賞与引当金	5,818
その他	94,675
流動負債合計	297,330
固定負債	
社債	60,000
長期借入金	56,090
固定負債合計	116,090
負債合計	413,420

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成25年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	262,750
資本剰余金	168,750
利益剰余金	310,534
株主資本合計	742,034
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△3,772
その他の包括利益累計額合計	△3,772
純資産合計	738,261
負債純資産合計	1,151,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	657,416
売上原価	401,748
売上総利益	255,667
販売費及び一般管理費	113,456
営業利益	142,210
営業外収益	
為替差益	3,204
営業外収益合計	3,204
営業外費用	
支払利息	985
支払保証料	244
その他	11
営業外費用合計	1,241
経常利益	144,173
税金等調整前四半期純利益	144,173
法人税、住民税及び事業税	39,990
法人税等調整額	17,007
法人税等合計	56,997
少数株主損益調整前四半期純利益	87,176
四半期純利益	87,176

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,176
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	8
その他の包括利益合計	8
四半期包括利益	87,184
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	87,184

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア サービス	ハードウェア 基盤	計		
売上高					
外部顧客への売上高	454,718	202,697	657,416	—	657,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,960	—	5,960	△5,960	—
計	460,679	202,697	663,376	△5,960	657,416
セグメント利益	130,943	12,305	143,249	△1,038	142,210

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。